

校長室だより

No. 30

平成 29 年 12 月 1 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし か  
加 藤 嘉 一

## 本校はユネスコスクールです

先週 24 日(金)、25 日(土)、わたしはユネスコスクール豊橋大会(研究大会)に勉強に行ってきました。本校は、前校長の中根先生の頃に、ユネスコスクール登録に申請し、認定されました。ユネスコスクールと言っても、あまりよくわからない方が多いと思いますので、文部科学省のホームページでの解説を掲載します。



### ユネスコスクールとは？

ユネスコスクールは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを **ESD** の推進拠点として位置付けています。・・・

【文部科学省ホームページ 「日本ユネスコ国内委員会」のページより】

では、ここにある ESD についてはというと以下のようなようです。

### ESD とは？

ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

つまり、ESD は持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

【文部科学省ホームページ 「日本ユネスコ国内委員会」のページより】

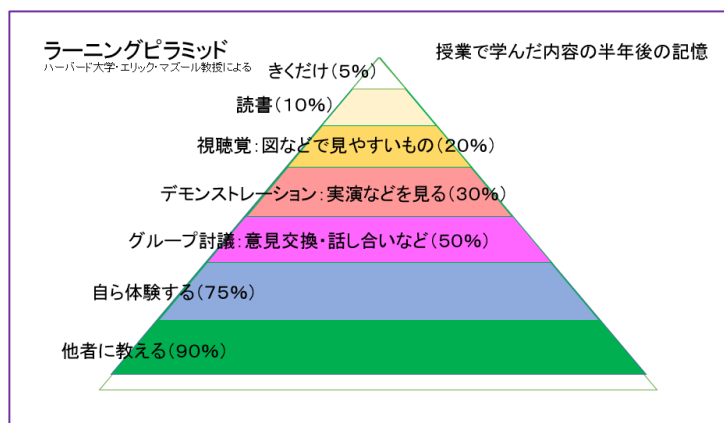
本校は、平成 25 年度に「環境学習を基盤にした ESD の推進」と題した研究発表会を開いており、今もこの考え方をもとにした学習を、総合的な学習などで行っています。6 年生が取り組んでいる「防災」や、他の学年が行っている「地域」を素材とした学習は、ESD の精神に根ざした学習です。年数が経ち、ユネスコスクールであることを知らない子供たちもいるだろうと思い、ESD の言葉も含め、簡単な言葉にし直し、木曜日の朝会で伝えました。

話を元に戻し、先週行ってきた豊橋大会の講演で、おもしろい資料を提示して

くださったので、紹介します。これは、子供たちにも朝会で見せました。

東京都江東区立八名川小学校・手島利夫校長先生が講演してくださり、「学習指導要領の改訂とE S Dの推進」と題し、どのような学習をつくっていくとよいかを述べるうえで、ハーバード大学・エリック・マズール教授の研究資料が紹介されました。ここに載せた資料は、そのときに提示された資料を、わたしが子供用に言葉を添えて再現したものです。

「授業で学んだ内容」を記憶するには、どうすればよいかを示すものです。記憶ができればよいということを手島先生は言いたかったわけではなく、21世紀型教育として前頁のE S Dの視点で創造される授業を提案されていたので、誤解のないようにしたいと思います。ようは「きくだけ」「見るだけ」の授業は、記憶としても残らないことがおっしゃりたかったのです。



ので、誤解のないようにしたいと思います。ようは「きくだけ」「見るだけ」の授業は、記憶としても残らないことがおっしゃりたかったのです。

昨年、授業参観を見られた保護者・学校評議員の中で、「先生たちは黒板だけで授業していませんね。準備が大変でしょう。」「自分たちの頃より子供たちに考えをよく聞いていますね。」と言われた方がいました。鋭いと思いました。今後も、子供にはどんな学力が必要か、どんな学びをつくればよいかを創造していきます。

## 本年度第1回 English Street 実施 —英語活動を研究する—



【11月29日(水)ESの様子】

えてくれ、ALTさん、STさん、なんと教員補助の熊谷先生や事務の佐藤さんまで手伝ってくれます。第1回は11月29日(木)。今年は、第1回から6年生に会話リーダー役の希望をとり、行いました。

この活動を見てみたいと申し込みがあり、今週と再来週に他校の先生が来られます。わたしたちは、お互いに情報交換しながら、教育の向上を目指しています。